

備前市事務事業評価表

事務事業名	市民センター管理運営事業		コード	担当課	備前地域公民館
			03-02-04-01	担当者	藤田かおり
事業実施期間	昭和56年度～				
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	生きがいのあるまちづくり			
	小項目	公民館			
	施策	施設の整備・充実			
電話	64-1133				

事業について	
目的	市民の生活、文化及び教養の総合的向上発展のための場所と機会と、福祉の増進に資するための場所と機会を提供を行う。 また、中央公民館・図書館・働く婦人の家・片上公民館の複合施設としての施設を維持管理する。
対象 (誰のために)	市民センターを利用する人
内容	貸館業務・公共的な催しの利用・各公民館で実施しているグループ活動の発表の場の提供

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
ホール利用回数	97 回		
ホール利用人数	18,868 人		
市民センター年間開館日数	299 日		
市民センター年間利用日数	299 日		
市民センター年間利用人数	61,502 人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	28,518	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	16,100	受益者負担	3,854	人件費		受益者負担	
	合計	44,618	市債		合計	0	市債	
		一般財源等	40,764			一般財源等	0	

必要人員	2.15	人		人
結果指標①	結果指標名	ホール利用回数		
	結果指標量	97		
	単位	回		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	8,403,832	円	円
	単位当たりコスト①	86,637	円	円
結果指標②	結果指標名	ホール利用人数		
	結果指標量	18,868		
	単位	人		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	8,403,832	円	円
	単位当たりコスト②	445	円	円

事業の成果			
成果指標名	ホール稼働率	式又は説明	年間利用日数／開館日数
	17年度		
成果指標量	32.44%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	50%	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：備前市市民センター設置条例
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
課題認識		グループや団体等が活動の場として利用したり、企画業者の催し物や市関連事業等に利用されている。合併から1年が経過したが、まだ一部市民には利用認識が薄いと思われる。利用しやすいよう、広報活動など行って、利用増加に努める。
コスト削減を踏まえてホールの運営を行っているが、現状は照明・音響・舞台担当として、主に3名の職員がホール使用の際には、状況に応じて当たっている。		
ホールの利用については、徐々に増加して来ている。2010年岡山県開催の国民文化祭を目指して、地域文化の育成を県とともに勧め、支援することにより利用を促進する。		

総合評価	
コメント	日生・吉永2館のホールの利用状況を見ながら、ホールの利用にあわせて使用できるように考慮し、また、コスト削減を考えると、民間委託の方向性も考えられるが、利用料金など利用し易い環境を作るため、検討が必要がある。
評価区分	<A~E> D

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	100	結果指標量②	20,000
目標値	結果指標量	50%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	ホール等運営の民間委託	平成19年度	職員数の削減
有効性	ホール等の利用促進	平成19年度	ホール等貸館利用率の増加

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標とを留意しながら有効性の評価を行って下さい。